選考を終えて（表彰委員より）

委員長

三重大学名誉教授

渡邉　悌爾　わたなべ　ていじ

最終選考の候補に残った各団体は、長年にわたり高齢化社会の生活支援、子供たちの居場所づくり、伊勢湾の広域的環境課題の解決に向けて、大きく貢献されました。

多大のご尽力に感謝と拍手を贈りたいと思います。

委員

名古屋大学大学院教授

小松　尚　こまつ　ひさし

一夕一朝に進展しなくても、工夫と改善を伴って継続することによって理解が深まり、仲間や応援が増え、成果や効果が地域にジワジワと浸透していくという、地道な活動を重ねる各団体に心から敬意を表し、ご発展を祈念します。

委員

名古屋工業大学教授

増田　理子　ますだ　みちこ

今年度の応募はどれも素晴らしい活動が多く、大賞についても僅差で優劣つけがたかったです。小学生から高齢の方々まで皆さんが地域を素晴らしい故郷にするための数々の取り組みをされていることを知ることができ、とても勉強なりました。

委員

静岡県立大学教授

大久保　あかね　おおくぼ　あかね

身近な問題に真剣に向き合う皆様の誠実なプレゼンテーションはどれも素晴らしいものでした。とりわけIT技術を採り入れたイノベーティブな活動や、子供たちによる海外発表など、まさに未来を期待させる内容が印象に残りました。今後の広がりが大変楽しみです。

委員

中日新聞社事業局次長

古田　真一　ふるた　しんいち

今回は、豊かな海を守り、未来につなげていくグリーン活動などを行っている団体が目立ちました。また、地域で連携し、子育て世代や高齢者世帯の孤立を防ぐネットワークづくりなど、まさに未来創造にふさわしい活動に尽力され、感銘を受けました。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

根本　恵司　ねもと　けいじ

地域の活性化や環境活動など、各団体が考える問題に対し様々な方法で熱心に取り組まれていることを強く感じる内容ばかりでした。また能登半島地震の影響なのか、今回は防災に関する応募が増えたように感じました。

各団体が引き続き活躍されることを期待します。

委員

国土交通省中部地方整備局 企画部長

濱田　禎　はまだ　ただし

地域資源を活用し、地元と協働した環境・防災活動など地域活性化に貢献する取り組みが多く見られました。学生ら若い世代の参加もあり、これからも地域の皆さんと協力しながら、さらなる発展と地域の持続可能な成長を期待します。